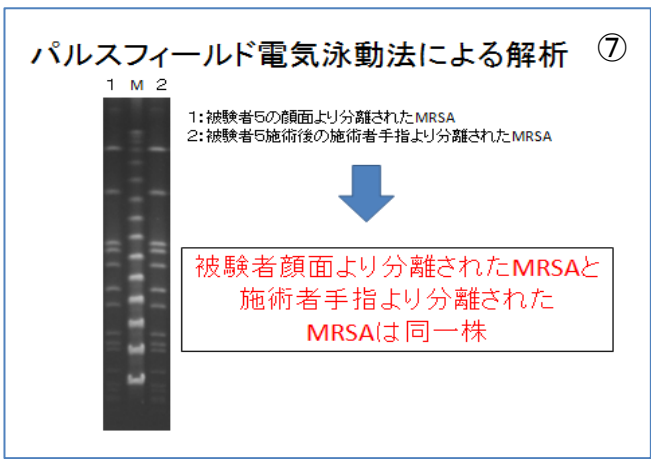
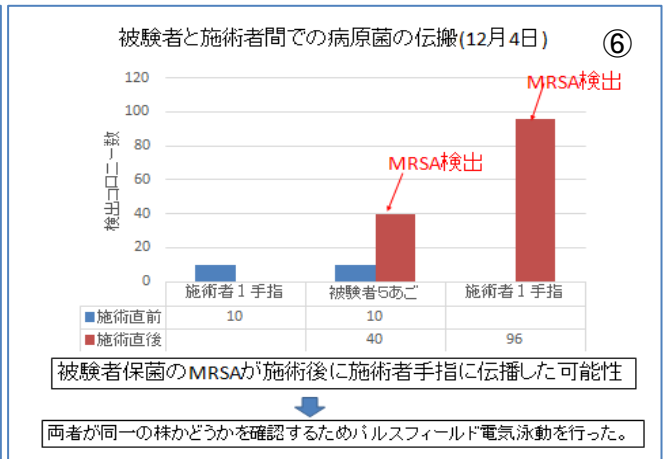
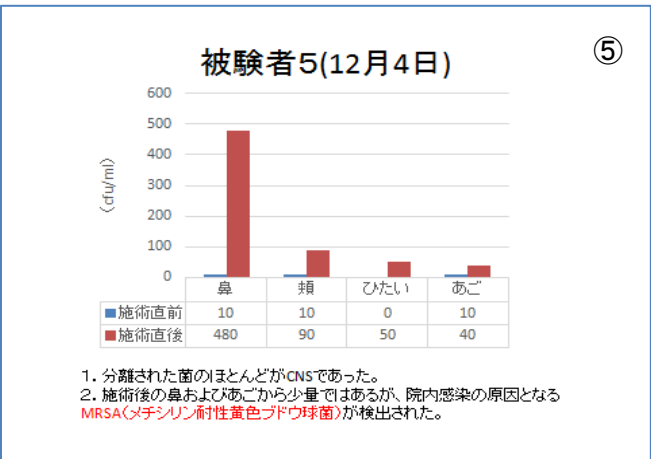
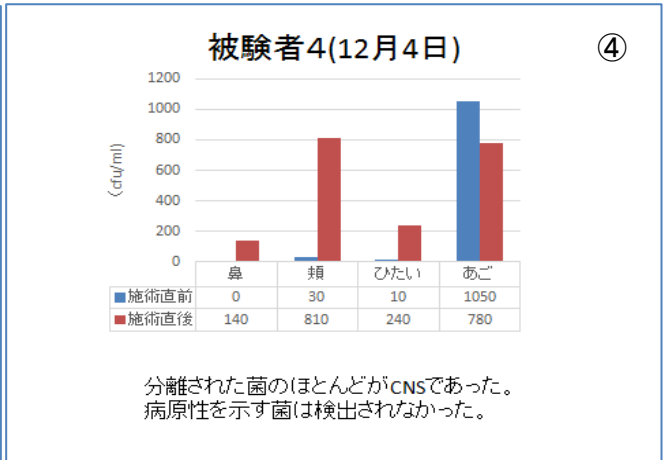
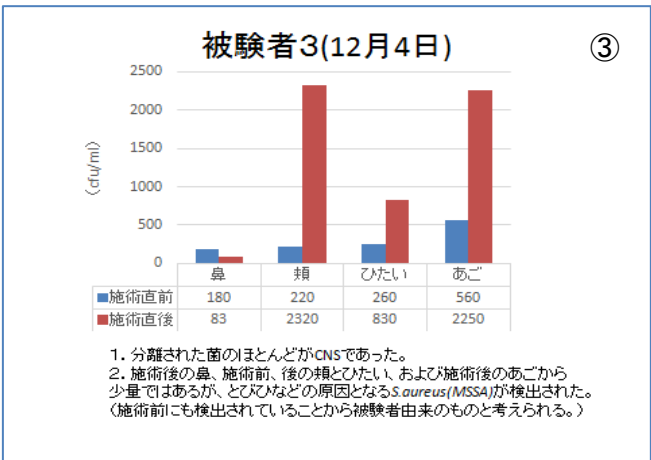
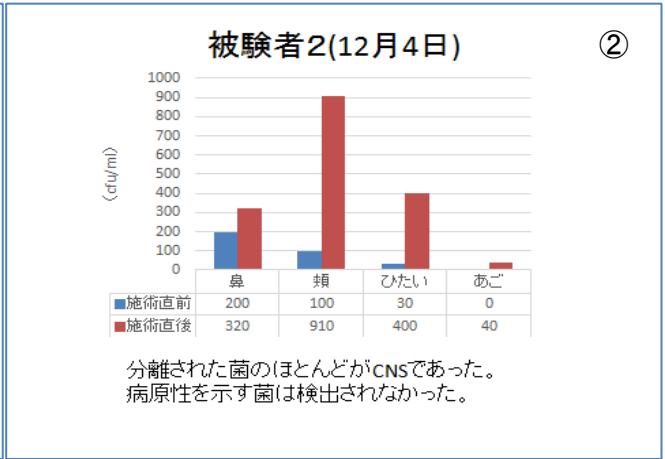
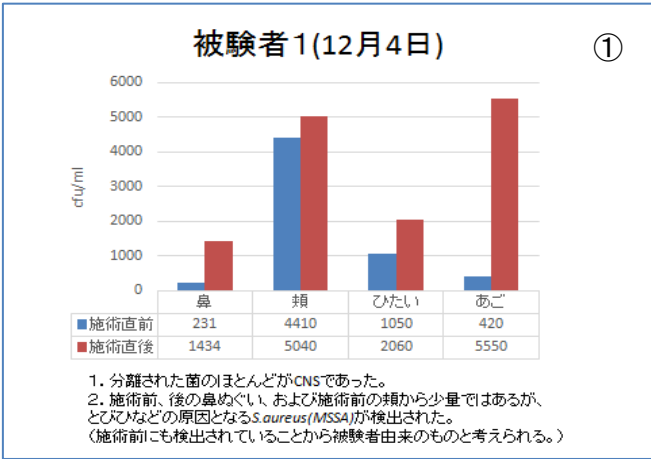
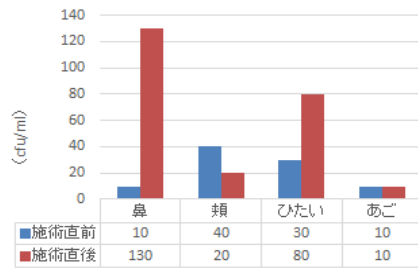


被験者の顔面皮膚の細菌検査



被験者1(12月18日)

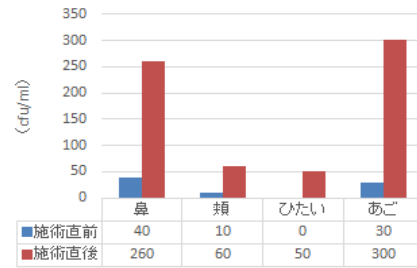
①



1. 分離された菌のほとんどがCNSであった。
2. 施術前、後の鼻、施術後の頬とひたいから少量ではあるが、とてびなどの原因となる*S.aureus*(MSSA)が検出された。
(施術前にも検出されていることから被験者由来のものと考えられる。)

被験者2(12月18日)

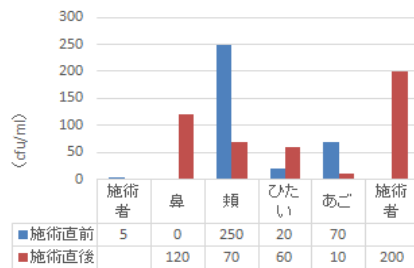
②



- 分離された菌のほとんどがCNSであった。
病原性を示す菌は検出されなかった。

被験者3(12月18日)

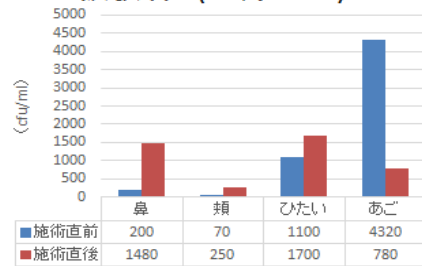
③



1. 分離された菌のほとんどがCNSであった。
2. 施術前のあごから少量ではあるが、とてびなどの原因となる*S.aureus*(MSSA)が検出された。
(施術前にも検出されていることから被験者由来のものと考えられる。)

被験者4(12月18日)

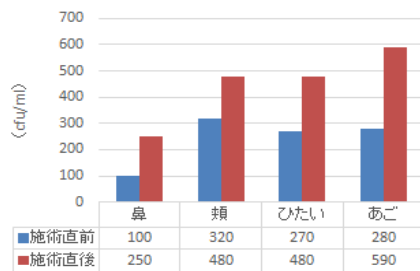
④



- 分離された菌のほとんどがCNSであった。
病原性を示す菌は検出されなかった。

被験者5(12月18日)

⑤



- 分離された菌のほとんどがCNSであった。
病原性を示す菌は検出されなかった。

